表３　平成30／31年の主食用米等の需給見通し

（単位：万トン）

平成30年６月末民間在庫量　A	186
平成30年産主食用米等生産量　B	735
平成30／31年主食用米等供給量計　C＝A＋B	922
平成30／31年主食用米等需要量　D	742
平成31年６月末民間在庫量　E＝C－D	180

注１：「主食用米等」の中には、主食用に供給されるもののほか、加工用途及び輸出用に供給されているものの一部が含まれている。

注２：平成30／31年主食用米等需要量については、現時点で価格の状況を見通すことが困難であるため、価格の変動が生じた場合の需要量への影響は見込んでいない。

注３：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

第３　（略）

第４　米穀の輸入数量及びその種類別の数量に関する事項

我が国は、平成７年度からガット・ウルグァイ・ラウンド農業合意に基づくミニマム・アクセス米の輸入を実施しており、この輸入は、「ガット・ウルグァイ・ラウンド農業合意の実施に伴う農業施策に関する基本方針」（平成５年12月17日閣議了解）の趣旨を踏まえつつ、輸出国の輸出余力、国際相場等を勘案しながら適切に行うこととしています。

１　平成29会計年度の輸入状況

平成29会計年度においては、平成29年３月の基本指針に基づき、77万玄米トン（うちＳＢＳ（売買同時契約）方式による輸入10万トン）の輸入を実施すべく、順次買い付けを行い、その結果、全量（ＳＢＳはうち10万トン）を買い付けました。

２　平成30会計年度の輸入方針

平成30会計年度の輸入予定数量については、ＷＴＯ農業交渉において新たな合意ができるまではミニマム・アクセス数量は平成12年度の水準が維持されることから、年間77万玄米トンとします。

ＳＢＳ方式による輸入については、予定数量を年間10万トンとします。

表３　平成30／31年の主食用米等の需給見通し

（単位：万トン）

平成30年６月末民間在庫量　A	187
平成30年産主食用米等生産量　B	735
平成30／31年主食用米等供給量計　C＝A＋B	922
平成30／31年主食用米等需要量　D	742
平成31年６月末民間在庫量　E＝C－D	180

注１：「主食用米等」の中には、主食用に供給されるもののほか、加工用途及び輸出用に供給されているものの一部が含まれている。

注２：平成30／31年主食用米等需要量については、現時点で価格の状況を見通すことが困難であるため、価格の変動が生じた場合の需要量への影響は見込んでいない。

第３　（略）

第４　米穀の輸入数量及びその種類別の数量に関する事項

我が国は、平成７年度からガット・ウルグァイ・ラウンド農業合意に基づくミニマム・アクセス米の輸入を実施しており、この輸入は、「ガット・ウルグァイ・ラウンド農業合意の実施に伴う農業施策に関する基本方針」（平成５年12月17日閣議了解）の趣旨を踏まえつつ、輸出国の輸出余力、国際相場等を勘案しながら適切に行うこととしています。

１　平成28会計年度の輸入状況

平成28会計年度においては、平成28年３月の基本指針に基づき、77万玄米トン（うちＳＢＳ（売買同時契約）方式による輸入10万トン）の輸入を実施すべく、順次買い付けを行い、その結果、全量（ＳＢＳはうち７万トン）を買い付けました。

２　平成29会計年度の輸入方針

平成29会計年度の輸入予定数量については、平成29年３月の基本指針に基づき、ＷＴＯ農業交渉において新たな合意ができるまではミニマム・アクセス数量は平成12年度の水準が維持されることから、年間77万玄米トンとします。

ＳＢＳ方式による輸入については、予定数量を年間10万トンとします。